

総務常任委員会 文教厚生常任委員会 合同視察レポート

総

委員長 市村 香 副委員長 大山和則
委員 相田一良・増田 豊・小林正紀・風野和視

文

委員長 鈴木裕一 副委員長 谷田部由則
委員 林 悦子・高田重雄・小高友徳・菊池伸浩

視察日 平成29年6月21日(水)～23日(金) 出席委員8名・欠席委員4名
視察先 フィリピン共和国マニラ市、バコール市

国際交流について

まず初めに、在フィリピン日本国大使館とYWA(民間人材派遣会社)を訪問しました。

在フィリピン日本国大使館では、担当書記官から、現在のフィリピンの概況や日本の地方自治体との国際交流について説明を受けました。その中で、茨城県の境町と岐阜県が紹介されました。

境町では、フィリピン英語教員派遣のために「英語教育や国際交流の手伝いなどを行う」JETプログラム(外国語青年招致事業)を活用しています。岐阜県では、特産食品を東南アジア市場に売り出すために、フィリピンをターゲットとする販売活動や、観光PRなどインバウンドの取り組みをしています。これらの事例は、これから桜川市が取り組む国際交流に参考となるものでした。またYWAでは、フィリピン労働者が諸外国へ派遣するための人材開発育成について、説明を受けました。

次に、バコール市庁舎を訪問し、国際交流に関する意見交換を行いました。ラニ市長からは、桜川市との友好交流都市の締結について、強い要望を受けました。桜川市とバコール市との交流をより一層深めていただきたいと思います。



在フィリピン日本大使館

ICT技術を活用した英会話交流事業

桜川市は本年度からICT技術を活用した、英会話交流事業が計画され、フィリピン共和国バコール市を訪問し事業実施に関する視察をしてきました。

相手校は、バコール市立バヤナン小学校です。フィリピンは、英語を公用語としている国です。日本との時差が1時間と少なく、他国と比較しても交流する大切な要素となっております。

バヤナン小学校では、1年生から英語を使った授業が行われており、早い段階から英語学習に取り組んでいます。会場に設置されたテレビモニタに、ビデオ通話ソフト「スカイプ」を通じて桜川市の画面が映し出され、日本との通話が支障なくできることを確認しました。

学校視察のほか、桜川市教育委員会とバコール市教育部門との間で、ICT技術を活用した英会話交流事業に関する趣意合意書が交わされたので、同席いたしました。

この事業を通して、両市の児童同士が自ら英語で活発にコミュニケーションを図り、学ぶ意欲がさらに高まり、他の小中学校にも拡大できるように要望をいたしました。



ビデオ通話ソフト「スカイプ」が設置された岩瀬小学校

文 教厚生 常任委員会

委員長 鈴木裕一 副委員長 谷田部由則
委員 林 悦子・高田重雄・小高友徳・菊池伸浩

平成28年度の決算審査において、下記事項について要望しました。

子育て支援について

学童クラブの安定した運営を図るには、指導員の賃金改定と施設の充実が必要です。桃山学園に開校予定の学童クラブは、十分な面積を確保し、遅延なく開設することを求めます。また、子育て支援の一層の充実を図るようしてください。

生活保護費

生活保護世帯の53%が高齢者世帯です。扶助費の内、医療扶助費に係る費用が最も多いので、認定に当たっては扶助義務者に対し十分調査することを求めます。

土地の賃借料について

教育委員会全体でも、毎年多額の土地借地料を

支出しています。土地価格等の変動を勘案して、時代に即した単価の見直しを図るとともに、将来の財政負担を少しでも軽減するために土地の購入を進めることを要望します。

真壁城跡整備の早期推進

真壁城跡整備の早期推進に向け、案内看板作り、当時の真壁城が想像できるような復元整備を進めてください。復元する建物はより広く活用できるよう、茶室などを整備することを要望します。

体育施設の管理は、利用者の安全性を第一に考え、老朽化等による不具合を計画的に整備し、万全を期すようしてください。



真壁城跡

建 設経済 常任委員会

委員長 飯島重男 副委員長 萩原剛志
委員 増田 昇・潮田新正・仁平 実・榎戸和也

平成28年度の決算審査において、下記事項について要望しました。

耕作放棄地の再生利用

平成28年度より新設された農地利用最適化推進委員が農業委員会とともに、遊休農地の解消に向けた取り組みを推進し、耕作放棄地の再生利用につながる活動をする。

イノシシ被害対策

イノシシ対策では、許可捕獲や狩猟捕獲により捕獲圧をかけることで、農作物被害の防止に努めているが、イノシシ被害が農業に与える影響は深刻であり、今後も関係機関と連携し被害防止対策の強化を図ること。

観光振興について

今年の10月から広域連携バスの運行が岩瀬駅まで延伸するので、観光資源や観光イベントのPR

を図り、ハイキングコースや広域レンタサイクル事業と連携し、来訪者の呼び込みにつながるよう観光振興に努めること。

災害対策について

建設部所管については、昨今の異常気象で従来では考えられない集中豪雨が発生しており、市内中小河川では土砂堆積の影響もあり、^{いっすい}溢水による災害が懸念される箇所がある。一級河川の土砂浚渫については、県に要望し、計画的な推進をしていただくとともに、普通河川は、市において本格的な土砂浚渫を実施するために、河川費予算を増額し減災に努めること。

水の安定供給について

水道施設の老朽化が進んでいる状況にあり漏水の原因にもなっている。今後、計画的に老朽施設の更新に努め、安定した維持管理運営のもと安全・安心な水の供給を図ること。